

『シロのヴィーナス』 学習プリント① ()組 ()番 ()
第一段落 (p15/1～p17/13)

〈語句〉

- ・ 魅惑…
- ・ あずかり知らぬ…
- ・ 普遍…
- ・ 具象…
- ・ 肉薄…
- ・ 弄する…
- ・ 心象…

p.15/1 シロのヴィーナスが「魅惑的」である理由はどこにあるか？

p.15/3 「美術作品の運命という制作者のあずかり知らぬ何ものか」とはどういうことか？

p.15/10 「よりよく国境を渡っていく」「よりよく時代を超えていく」とはどういうことか？

p.17より、両腕を失ったヴィーナスについて述べられている箇所を抜き出せ。

〈語句〉

- ・興ざめ…
- ・客観的…
- ・羞恥…
- ・実証…

p.18/2 「僕の困惑」の内容を説明せよ。

p.18/4 「表現における量の変化ではなく、質の変化である」とはどういうことか？

=

p.19/2 「もし真の原形が発見され、芸術というものの名において。」なのはなぜか、説明せよ。

〈語句〉

- ・ 千変万化…
- ・ こよなく…
- ・ 述懐…
- ・ アイロニー…
- ・ 呈示…

p.19/14 「手というものの人間存在における象徴的な意味」とは何か？

--

逆

p.20/6 シロのヴィーナスの失われた両腕が 「不思議なアイロニーを呈示する」とはどういうことか？

◎まとめ

- ・ シロのヴィーナスが魅惑的であるのは () を失っているからであり、 () を暗示している。それは偶然が生み出したものであるが、 () を深々とたえている。
- ・ シロのヴィーナスの復元案が試みられているが、選ばれたどんなイメージも () 以上上の美しさを見出すことはできない。
- ・ シロのヴィーナスにとって、失われているものが () 以外であった場合、 () はないのである。

